



小倉百人首



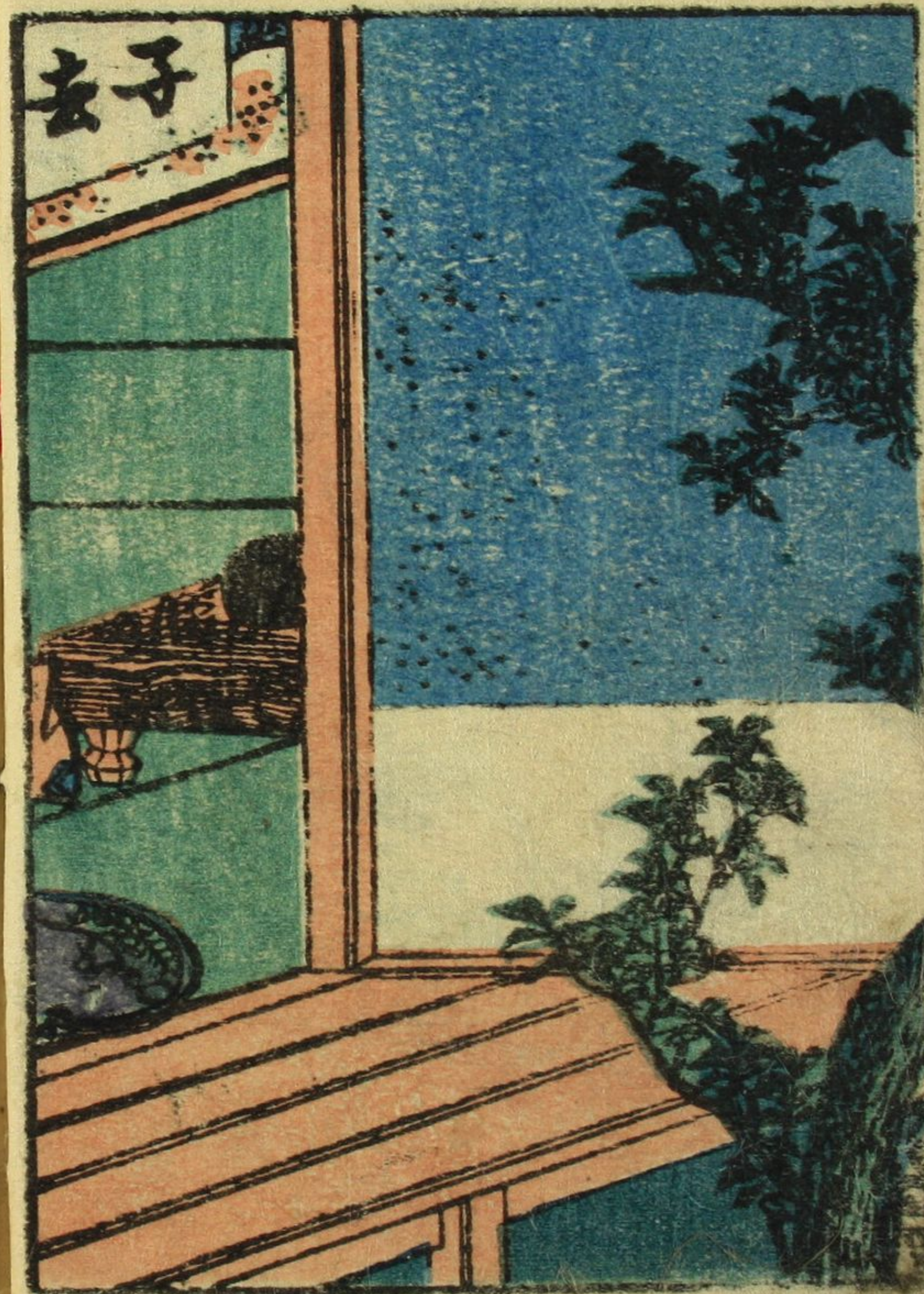




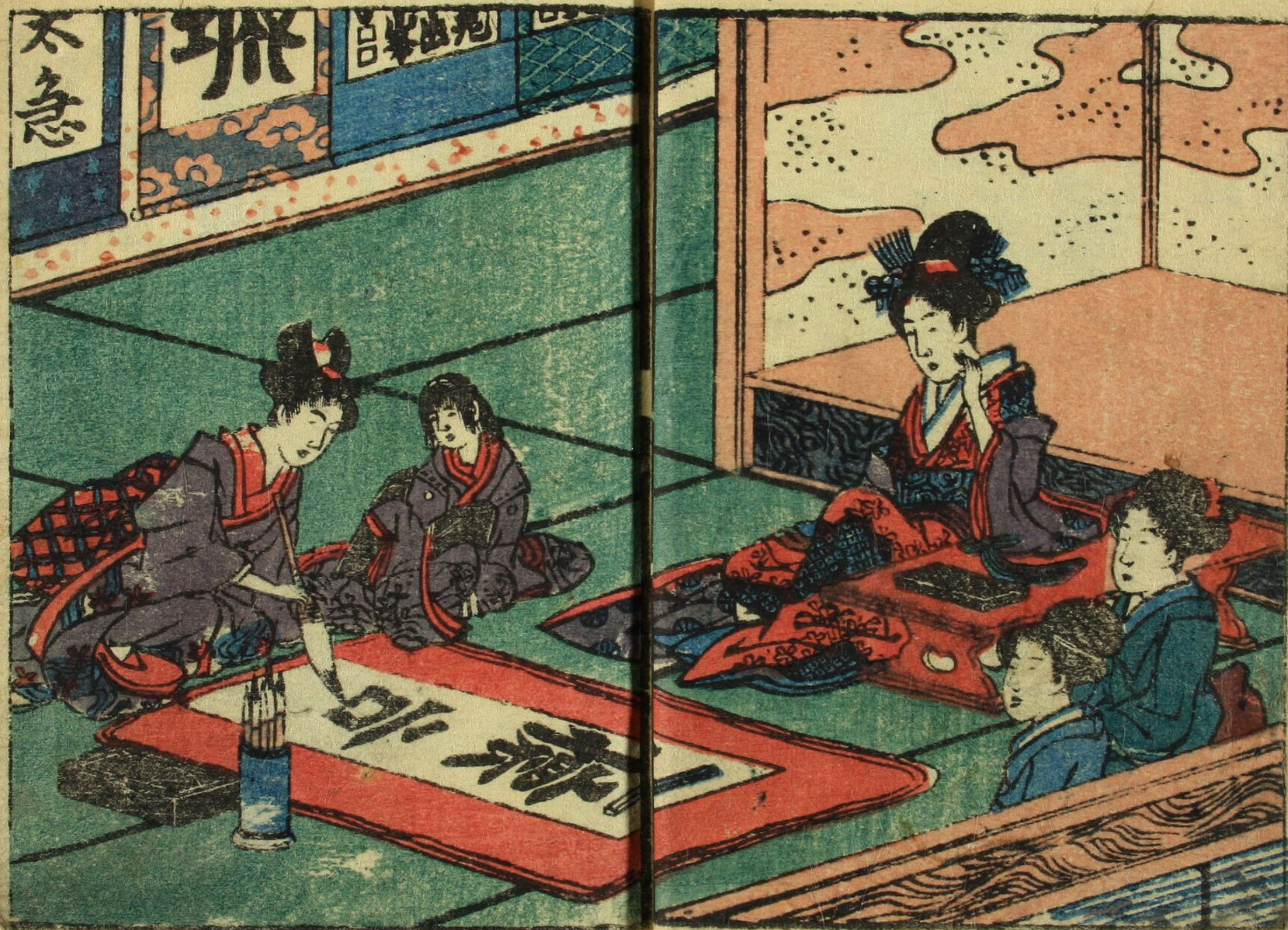


















Handwritten musical notation on the left page, featuring various notes and clefs. The notation is written in black ink on aged, yellowed paper. There are some red ink markings or stains at the top and bottom of the page.

Handwritten musical notation on the right page, continuing the piece from the left page. The notation is written in black ink on aged, yellowed paper. There are some red ink markings or stains at the top and bottom of the page.







Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns across two pages. The text is written in black ink on aged, yellowish paper. The right page contains four columns of text, and the left page contains three columns. The characters are highly stylized and fluid, typical of cursive calligraphy. There are some red ink markings or stains visible on the paper, particularly along the top and bottom edges of the text area.



卷之七

首のつぎに  
 花の地



Handwritten text in a cursive script, likely Japanese Kuzushiji, arranged in two columns on each page. The text is enclosed within a rectangular border. The right page features a prominent red ink wash or seal at the top.

Right page (top to bottom):  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

Left page (top to bottom):  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十



夕ゆふににあそあそびびのの一いち巻まき  
ううたうたののううたうたののううたうた  
ううたうたののううたうたののううたうた

ううたうたののううたうたののううたうた  
ううたうたののううたうたののううたうた  
ううたうたののううたうたののううたうた



あきばく  
くさく  
いふ  
うき

中元  
あきばく  
うき  
うき







九歌  
重  
乃  
美

第一  
河  
乃  
美



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns. The text is enclosed in a rectangular border. The characters are fluid and connected, typical of the cursive style. There are some small annotations or corrections written above certain characters.

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns. The text is enclosed in a rectangular border. The characters are fluid and connected, typical of the cursive style. There are some small annotations or corrections written above certain characters.











天智天皇  
 秋の四日  
 不の  
 名  
 秋の  
 秋の



持統天皇  
 春  
 春  
 春  
 春





















夫の義堂  
 何れ  
 今も  
 今も  
 今も  
 今も



僧止通  
 今も  
 今も  
 今も  
 今も










中納言の平  
 ちう  
 山  
 今



孝者天皇

A portrait of Emperor Kōshō, depicted from the chest up, wearing a dark blue robe with green floral patterns and a white headband. He has a mustache and a goatee. The background is a light yellowish-brown with stylized blue and white clouds. Large, bold Japanese calligraphy is written above and to the left of the portrait.



藤原敏行



あつたつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつた









[illegible][illegible]









1741



1742















三

久

9

子  
乃  
不日

しん

花のらん

藤原興國

ふのうせ

新

とらで  
まの  
せじ

五

三



卷之五

卷之四







夏の夜に  
いかに  
おれに  
かへん



人いそ  
くは  
ふ  
ふ



わさ  
かき  
らうひて  
くのかの  
ち  
あつる

右通



文屋却康  
 白も  
 吹し  
 秋の  
 つま  
 ちり









This detail shows a man in a blue and red garment looking up at large, stylized Japanese calligraphy. A red cloud-like shape is in the background.



清原元輔

らぎりたふ  
しやう  
てまのねふ  
なまのねふ



三十九























左將道娘

あはれ  
ひかり  
あはれ  
あはれ  
あはれ  
あはれ



左將道娘

あはれ  
ひかり  
あはれ  
あはれ  
あはれ  
あはれ





大まの月  
 ひろく  
 なる  
 なる  
 なる  
 なる



けい  
 けい  
 けい  
 けい  
 けい  
 けい





ありきんえ  
うきんえ  
いんえ  
きんえ  
きんえ



This page from a Japanese book features a woodblock print illustration of a woman in a red kimono at the bottom. The upper portion of the page is filled with large, expressive cursive calligraphy in black ink on a light background.













たふさく道權

今いふ  
えんひ  
くづる  
ふも  
かろ



権中納言定頼

うき  
きり  
あつ  
さ  
の  
ろ  
も














良選法師



A portrait of a man with a shaved head and a beard, wearing a dark robe over a blue garment. He is looking slightly to the right.

良選法師

[illegible]

然因法師





大村玄哲信

A woodblock print illustration of a man in a blue robe and black cap, looking upwards. Large, stylized Japanese calligraphy is written above him, set against a background of blue and white clouds.



祐子内親王家紀傳

かきくけこ  
さしすせそ  
たてと  
なぬねの  
はひふへほ  
まみむめも  
やゆよ





源氏物語  
平家物語

うさぎ  
おのろ  
らき  
うさぎ  
うさぎ  
うさぎ



源氏物語  
平家物語

うさぎ  
おのろ  
らき  
うさぎ  
うさぎ  
うさぎ













たきまのりょう  
たきまのりょう  
たきまのりょう  
たきまのりょう

たきまのりょう  
たきまのりょう  
たきまのりょう  
たきまのりょう



たきまのりょう  
たきまのりょう  
たきまのりょう  
たきまのりょう









皇太后太后

ふりて

なま

ふのあふも  
うご  
うな



藤原清輔卿

カズミ

たふ

ふのぞん

今  
今



卷之四



佐恵子師

あ

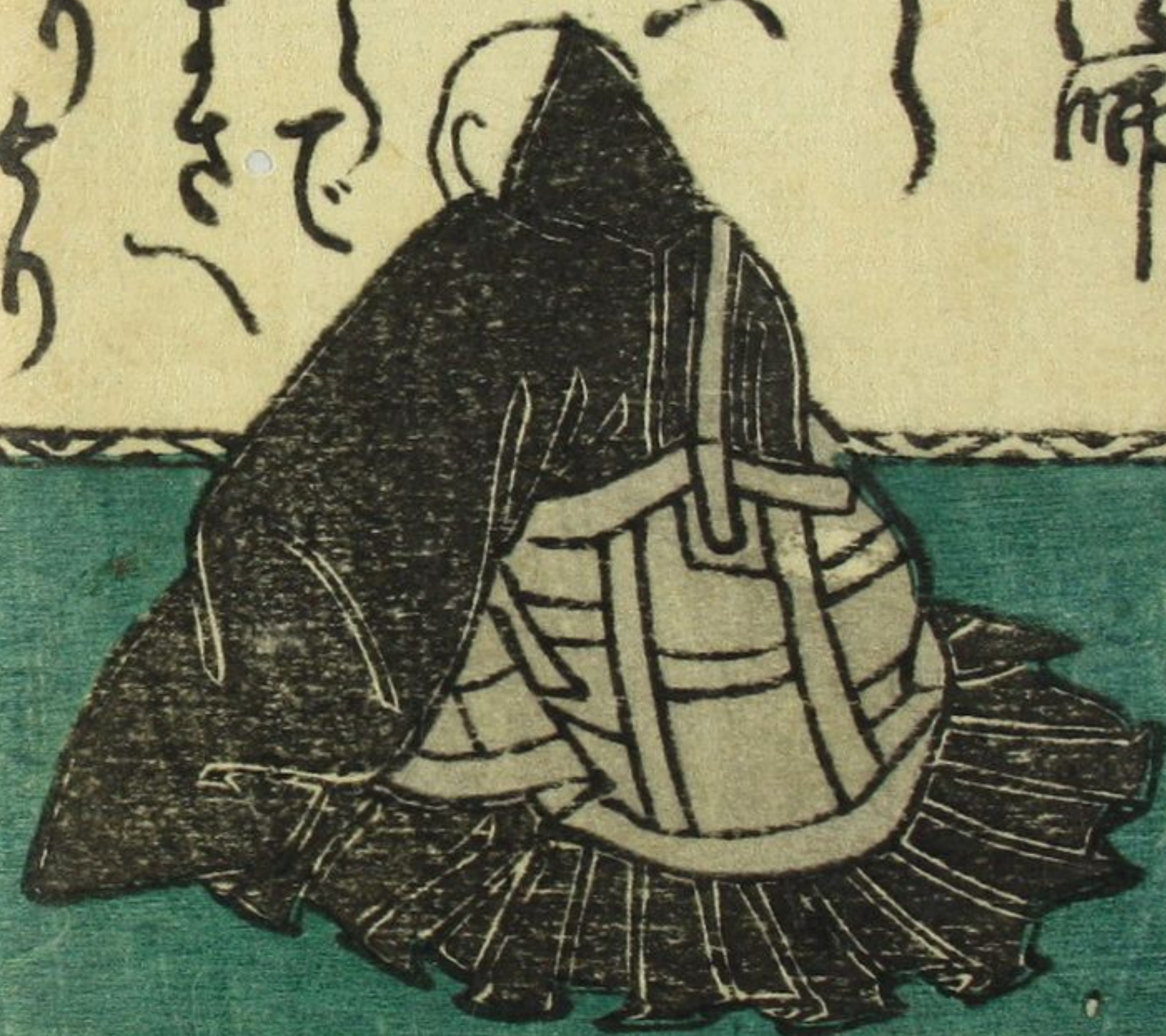
五

人

おやで

おのひさま

つれづれ



西の原

カ  
シ

月夜

2

此

ぐんぐんわぐ

222



卷十一











清東侯爵の松雲歌

三つど  
 君  
 長  
 心  
 ねん



三つど  
 君  
 長  
 心  
 ねん



二休院譜

[illegible]








息之保止意圖

おんけさく  
うきよの  
みちるふ  
あつてな  
てふ  
まじりて



入道書院

花ざかり  
あじの  
ふくろ  
ゆき  
ふり  
こぎ



卷六



えんきふ

A woodblock print illustration of a man in traditional Japanese court attire, seated and looking slightly to the left. He wears a dark, patterned robe with wide sleeves and a red sash. The background is light with stylized calligraphy.

用事なれ  
ふたりの  
たれ  
さきも  
さきも  
さきも

卷之四







月の美事

正月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
あけぼの	あけぼの	あけぼの	あけぼの	あけぼの	あけぼの	あけぼの	あけぼの	あけぼの	あけぼの	あけぼの	あけぼの

女中

上中	上中	上中	上中	上中	上中	上中	上中	上中	上中	上中	上中
下中	下中	下中	下中	下中	下中	下中	下中	下中	下中	下中	下中

男 女 相 姓 吉 祥 和 歌 圖



男木女水 子入内三人 人ばは初めど  
 のたつありき 命もろもろ 世に一音そ  
 かに ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど  
 男木女水 子入内三人 人ばは初めど  
 のたつありき 命もろもろ 世に一音そ  
 かに ちやうど ちやうど ちやうど ちやうど





▲男火女土大どー子三人又八人  
ふつふで金やば荒神とまうてけいめ内  
三人つれもいとろづー

▲男火女本り子二人又八人ちきうて  
いふふらんあり  
ふりさかすなをききもはせれは徳をさう

▲男土女火大どー子九人ありでんぞに  
つれふつーつにたての井とまうては  
ふのふふにりぞー



▲男土女火大どー子八人いふふも多  
くけいふもふのまうていびやうて金  
やば井井とまうてろづー

▲男金女火大どー子八人ちきうて  
金やばでんぞはけ井井とまうて  
いふふのまうてろづー

▲男金女土大どー子八人ちきうて  
天とろ金やばけ井井とまうてふふん  
ふりふふのまうてろづー





男水女木子てんく三人ありやけきなり  
ふねとてふげんやまつといふるづりあき  
ふててりやうんまをり  
やう  
ふねのきりあきをわしたはるるふたりり

男水女金大ニ子七人ありきうひ  
いふくくくくくくくくくくくく  
けんぞい多一  
きふ

男と女とをいふに似たり  
なりといふもなりきなり  
なりといふもなり



まゐる女相生いさの相生相尅とく吹  
味ー相せるともつて配とどー夫婦の  
み母のこどもありまうして子孫えんじやう  
もしひかりまう此相生相尅あも口傳あり  
しうひ相尅てもも姦奔のけうりて  
しうしたくへ氷を火に尅れども姦人あは  
それば相方としうつ通死うてちぐー



新撰十六之圖

亥	戌	酉	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子
つちのへ	つちのへ	ひのと	ひのと	きのこ	きのこ	みづ	みづ	うのと	うのと	つちのへ	つちのへ
木	木	火	火	金	金	水	水	木	木	火	火
うのと	うのと	つちのへ	つちのへ	ひのと	ひのと	きのこ	きのこ	みづ	みづ	うのと	うのと
金	金	土	土	水	水	火	火	金	金	土	土
うのと	うのと	つちのへ	つちのへ	ひのと	ひのと	きのこ	きのこ	みづ	みづ	うのと	うのと
水	水	木	木	火	火	土	土	水	水	木	木
きのこ	きのこ	みづ	みづ	うのと	うのと	つちのへ	つちのへ	ひのと	ひのと	きのこ	きのこ
火	火	金	金	土	土	木	木	火	火	金	金
ひのと	ひのと	きのこ	きのこ	うのと	うのと	みづ	みづ	つちのへ	つちのへ	ひのと	ひのと
土	土	水	水	木	木	金	金	土	土	水	水

ちのまゝに常あつたりしごと  
くもくしくなるべし人に未だのじ  
ふちりて三十才の人に行時を尋ね  
るふせうとて年々にやいへんま  
かのきりぎりす候なりとありて幸  
ふなりと云ふに世のけさしてはな  
余はこれふれへしとあるる人



六仙の園



大徳寺

信正通

主事業平

●小野村町

文政元年

春三月



